

おたあ・ジュリアと日遙上人 — 壬辰戦争（1592-1598）と遙かなる記憶の狭間で —

許南麟氏

ブリティッシュコロンビア大学 教授

日時: 2024年5月21日(火) 17:00~18:30

開催形式

対面: 横浜キャンパス 9号館12室

オンライン: Zoomミーティング

対面にて参加の
場合は申込不要

オンライン参加 申込フォーム

申込み後、IDと
パスコードが自
動返信メールに
て送信されます。



おたあ・ジュリアと日遙上人

— 壬辰戦争（1592-1598）と遙かなる記憶の狭間で —

おたあ・ジュリアと日遙上人という二人の朝鮮の少女少年は、それぞれ戦争で人生が大きく変わってしまった。両親から切り離され、遠い日本の一角に身を置いたおたあ・ジュリアは16年の時を経て、萩に拉致された弟に積極的に会うが、のちにキリシタンの取り締まりによって流刑に処され姿を消した。

一方、熊本本妙寺の住職になった日遙上人は、日本で28年目になるある日、朝鮮の父親から思いもよらない手紙をもらった。帰国を志したが叶わず日本で生を閉じた。本報告では最近公開された新しい資料とフィールドワークの成果を紹介する。